

# 非核の政府を 求める大阪の会

## ニュース

第215号 2023年 5月1日

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉 梅田 章二  
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)  
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033  
 URL・https://hikaku-osaka.jp/  
 E-mail・hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp  
 hikakuosaka@hotmail.com



# 是非 非核の政府を!

## 核兵器禁止条約に参加する世論を高めよう!

非核の政府を求める大阪の会は、3月4日大阪市内で第37回年次総会を開催しました。

開会のあいさつの中に、豊島達哉事務局長から議案Ⅰ「第一情勢、第二活動報告、第三方針」、議案Ⅱ「世話人・常任世話人」、議案Ⅲ「予算・決算」を提案。

「昨年核兵器廃絶の運動にとって、きわめて重要重大な年であったと指摘。核兵器禁止条約の締約国会議が開催され、「ウイーン宣言」と「行動計画」を採択しました。NPTR再検討会議では最終文書は採択できませんでしたが、非核保有国が議論をリードし、国際世論の多数派であることを明確にしました。「軍事対決の無法世界の時代から法と正義に基づく非核平和を志向する時代へ」の確信を

える年で、その確信はロシアのウクライナ侵略と欧米の対応のこの一年間の推移から明らかになってきました。岸田政権の対米追従の対応、さらに維新勢力による改憲、歴史修正、核共有論を喧伝し、非核三原則を否定して改憲軍拡勢力の先兵的役割を果たしていることに批判が高まっています。



今年度の活動の特徴は、国際的課題(ウクライナ問題、原水爆禁止運動など)とともに国内・府内の諸問題(改憲勢力の軍備増強、国民の生活・生命への危険な政策など)を引き続き発展させるとともに、当会の魅力的な取り組みを企画して非核・平和の世論の高揚に役をはたしていきたい。

今年五月から始まるG7広島サミットで核抑止論ではない核兵器廃絶の議論を進めるように迫ることが必要ではないか、と呼び掛けています。

議案の提案後の会計監査報告をうけ、特別報告を三人の常任世話人からありました。(詳細は次頁)

昨年年度の会の活動では、全自治体のご協力をえて、ロシア政府のウクライナ侵略に対する対応を質問項目に加

参加者からは、奥村正憲八尾平和委員会の八尾空港の軍事基地強化の動き、高砂保子大阪うたごえ協議会副会長から「核兵器禁止条約発効2周年のつどい」で歌とアース・ビナード氏の講演の報告、長尾ゆり常任世話人から当会の活動に



▲議案の提案をする豊島事務局長(3.4)

「ジェンダーと非核」「エンターと戦争」を取り上げていることに賛意を表し、ウクライナ侵略でもその被害者の多くは女性とこともであると指摘、平和の話し合いには女性の参加が必須であること強調されました。

閉会のあいさつにたれた梅田章二常任世話人は、「新しい戦前のはじまり」戦争というのが手に届くところまで近づいてきている」と指摘。今こそ、非核の政府が必要と訴えられました。

参加者は22名でした(ズーム参加も)。祝電・メッセージは広島市長、長崎市長を含めて13自治体、14団体。ありがとうございます。

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
  - ② 国是として非核三原則を厳守する
  - ③ 日本の核戦場化へのすべを徹底的に阻止する
  - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
  - ⑤ 原水爆禁止世界大会の開催まで国際連帯を強化する

特別報告Ⅱ 大阪港に米軍艦入港糾弾

足立 吉

橋口紀塩大阪原水協事務局長 “大阪湾に戦争の足立 吉”

大阪港J岸壁に7年ぶりに米強襲揚陸艦が姿を現しました。米海兵隊第7艦隊の軍艦です。商売の街大阪、J岸壁は食料品を扱う岸壁です。「安保3文書」による日本の軍事化の表れです。大阪港は市議会で「大阪港の平和利用に関する決議」が採択されています。それを反故にしようとする維新市政の危険性に対して、安保・原水協・平和委・非核の会の四団体は直ちに抗議行動を取り組みました。

“日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准をめぐして”

6月30日から始まる平和行進、8月4日から始まる世界大会を成功させながら、今取り組んでいる署名を当面30万筆を目標に結

特別報告Ⅱ これていいのか万博・カジノ

ます。



大阪から代表を送つてその成功をめざします。

藤永延代おさか市民ネットワーク代表

夢洲は、捨て場のないごみを投棄するために許可された「人工のしま」です。しかも、まだ埋め立て途中の大事な市民の財産です。維新首長が言うような「負の遺産」では

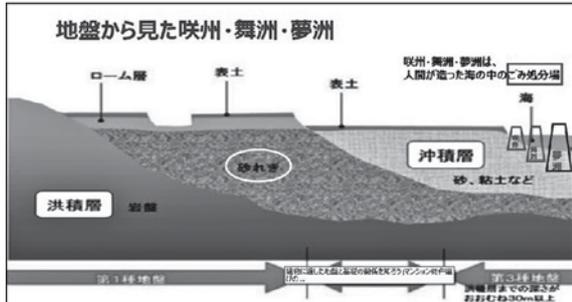
ありません。そもそも、海底・川底の泥や、家やビルを解体してでる廃材などと大阪市域の家庭ごみの焼却灰など、危険で汚ないゴミを投棄しているのですから、土壌汚染や水溜まり（液状化）は当たり前です。しかも、大阪湾の特徴ですが、海底は30m下まで豆腐のようなゆるゆるの「沖積層」、さらにその下80mまで砂混じりの「洪積砂礫層（こうせきされきそう）」ですから、地盤沈下は必至で、高層ホテルなどの建設には、1本1億円という杭打ちが数百本も必要です。そこを、無謀にもIR・カジノ・万博をもつてくる「夢洲開発」を強行しているのです。従って、土壌改良や交通・浄水排水などアクセス整備に、既に50

00億円近い税金が投入されています。経済効果と言いますが、IR推進局発表の事業計画1兆800億円の7割8000億円が土建事業です。中国の金持ちがくると言われますが、来客2000万人のうち1400万人が日本人です。カジノ事業者がこのうちの2%・28万人がギャンブル依存症になると発言しています。ギャンブル依存症は治りません。パチンコの数倍の掛け金で人を不幸に陥れます。大阪府は世界一の依存症対策は「入場制限」だといいますが、制限の方法はまだ不明です。

第一、コロナ以降カジノはネットカジノ時代です。夢洲IRには6400台のゲーム機と470台のテーブルゲーム「バカラ」を設置するそうです。言わば大型の公営ゲームセンターです。そんなところに1兆円近い市民の税金をつぎ込んでいいのか！



その上、土地賃貸料金疑惑です。IR用地49hrを1.428円で貸すと言います。土地価格にしたら12万円という破格の値引き。おとなりのUSJは50万〜60万円です。この価格算定に参加した土地鑑定業者4社のうち3社がびったり一致した。こんなこと100%あり得ないと専門家が言われます。官製談合の疑いありです。そのおかげで、契約期間35年では525億円の損失です。疑惑も浮上した「夢洲開発」はやめさせるべきです。



その上、土地賃貸料金疑惑です。IR用地49hrを1.428円で貸すと言います。土地価格にしたら12万円という破格の値引き。おとなりのUSJは50万〜60万円です。この価格算定に参加した土地鑑定業者4社のうち3社がびったり一致した。こんなこと100%あり得ないと専門家

言われます。官製談合の疑いありです。そのおかげで、契約期間35年では525億円の損失です。疑惑も浮上した「夢洲開発」はやめさせるべきです。

府の津波浸水想定(イメージ図)



2区・3区に投棄した浚渫土砂の品質 半分は水

これが浚渫土質の証明書
含有量証明を拡大してみよ:
含水量 49.2%で半分は水
総水銀 2.4mg/kg=2.4ppm
鉛水銀 0.1ppm/12.8ppm
PCB 2.8mg/kg=2.8ppm
有機溶剤 0.1ppm/12.8ppm

ごみ立て場1区のB地区、大量のPCB(ダイオキシン)の袋が埋め立てられている。1袋3m、これを2023年7月まで3万m投入する。何と10000袋積み上げた上を万博の駐車場にすると言う!! PCBは国際法による禁止物質、いずれ世界の批判を受ける!



特別報告Ⅱ さらなる危険、政府の原発政策!



吉井英勝原  
発・エネ  
ギー・地域  
経済研究  
所  
代表

まず敵基地攻撃能力については、真珠湾攻撃がまさに敵れによって悲惨な戦争を引き起こしたことを想起しなければならぬと強調されました。またウクライナ戦争では、原発が核兵器に匹敵するような安全保障上の脅威となることとが明らかになりました。ミサイルを使わなくても、例えばドローンを飛ばして原発への送電線をショートさせて原発の電源を喪失させれば、簡単に原発事故を誘発できるのであつて、安全保障の観点からも原発は一刻も早く廃止しなければな

らないと指摘されました。再生可能エネルギーの開発予算について

はこれまで日本が原発関連予算として支出してきた総計100兆円もの金額を組み替えれば充分確保できること。また環境省の資料からは、日本では再生可能エネルギーは年間7兆KW/hもの電力を生産しうる可能性があるとされており、日本全体の年間電力生産量(9億~1兆KW/h)を再生可能エネルギーで十分まかなうことは十分可能であることが

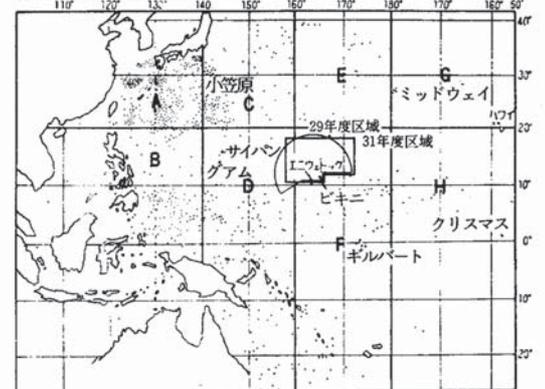
ら、エネルギー政策の抜本的転換が必要であることを強調されました。

『ビキニの海は忘れない(核実験被災船を追う高校生たち)』

をもっています。その闘いの出発点ともなった書籍が今回のお薦めの本です。

「刊行によせて」で森田俊男氏は八五歳の母親の言葉を紹介しています。「私の息子節弥は、マグロ漁船に乗ってビキニへ行ってきた。ビキニの海図を家に持ち帰って、『第五福竜丸と同じように死の灰を浴びてしまった』と言っていました。あの子は長崎でも被爆していたので、不安がっていました。昭和三五年、入院していましたが、そこを抜け出して海に入って自殺してしまいました。調査・聞き取りした高校生たちの胸に重くひびきました。第一章「若き漁船員の死」、

廃棄マグロの漁獲位置



被災船数

	A	B	C	D	E	F	G	H	不明
実験期間中の被災船数	56	9	7	4	-	22	-	2	5
6月~12月の被災船数	297	133	107	111	23	53	-	16	18
計	353	142	114	115	23	75	-	18	23

近藤康雄『水爆実験と日本漁業』東大出版会

第二章「アメリカのビキニ水爆実験と第五福竜丸」  
第三章「核の海の証人たち」  
第四章「水爆実験とマグロ漁業」  
第五章「爆心地・マシーナル諸島を訪ねて」  
第六章「ビキニ被災者救済のために」  
第七章「非核の海をめざす高校生たち」

全19頁、資料や図式などが掲載されている学習資料としても格好のテキストです。また若い高校生の活動に希望を持たせてもらえます。

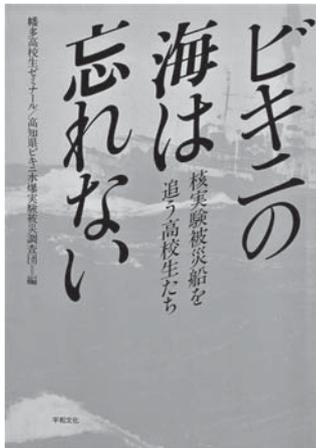
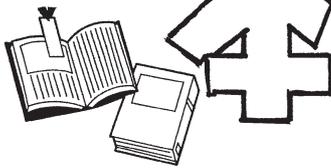
編者は「幡多高校生ゼミナール、高知県ビキニ水爆実験被災調査団」で、執筆者の一人に山下正寿氏が名を連ねます。発行は平和文化、定価1545円

シリーズ大阪における国民平和大行進⑫

1972年の平和行進…ベトナム戦争重大局面・沖縄問題を正面に掲げし(6.22-6.25)

読みませんか!

非核・平和の本を



「非核の海をめざす高校生たち」

全19頁、資料や図式などが掲

